

千葉県廃棄物処理施設設置等審議会

議 事 録

平成25年度 第1回

議題

- (1) 会長、副会長の選出について
- (2) 千葉県廃棄物処理施設設置等審議会運営要綱について
- (3) 大平興産(株)の産業廃棄物最終処分場（管理型）
変更計画について
- (4) (株)フジコーの産業廃棄物焼却施設設置計画について
- (5) その他

平成25年度 第1回千葉県廃棄物処理施設設置等審議会 議事録

1 日 時

平成25年9月20日（金） 13:30～17:15

2 場 所

千葉県教育会館本館203会議室（千葉市中央区中央4-13-10）

3 出席者

審議会：7名

事務局：飯田環境対策監、矢沢次長

廃棄物指導課：石渡課長、飯田室長、阿由葉主幹、小倉主幹、
強口副主幹、佐久間副主幹、帆刈主査、
宮腰副主査、分部副主査、丹澤技師

環境政策課：高見副主査

印旛地域振興事務所：島田技師

君津地域振興事務所：在原副主幹

環境研究センター：杉山主任上席研究員、大石研究員

4 議 事

- (1) 会長、副会長の選出について
- (2) 千葉県廃棄物処理施設設置等審議会運営要綱について
- (3) 大平興産(株)の産業廃棄物最終処分場（管理型）変更計画について
- (4) 株フジコーの産業廃棄物焼却施設設置計画について
- (5) その他

5 議事要旨

- (1) 会長、副会長の選出について
本会は、千葉県行政組織条例を設置根拠とする附属機関である審議会となつて、最初の会議であることから、同条例に基づき会長、副会長の選出を行った。
- (2) 千葉県廃棄物処理施設設置等審議会運営要綱について
審議会の運営については、千葉県行政組織条例に基づき会長が定めるとあることから、「千葉県廃棄物処理施設設置等審議会運営要綱」を示し各委員の了承を得た。

(3) 大平興産(株)の産業廃棄物最終処分場（管理型）変更計画について

生活環境保全上の意見

- ・ 放流水の塩化物イオン濃度が高い原因は焼却飛灰であるため、これを減らしていくとあるが、これは飛灰の受け入れ量を減らすという意味か。それとも飛灰のうち、塩化物イオン濃度が高いものについては受け入れを制限するということか。
- ・ 遮水シートについて、内部保有水の外部への影響だけではなく、外部の地下水が遮水シートにどのような影響を与えるのかについても検討をする必要がある。地下水が自己修復シートに影響をしないのか等についても確認いただきたい。
- ・ 生活環境影響調査書の騒音振動に関する部分で、住宅地から離れているから騒音振動の検討の必要は認めないという記載があるが、民家から離れているから必要ないということではない。法令、条例の規制等に照らした結果、検討する必要があるかないかという問題である。

施設の構造上の意見

- ・ 改善対策で使用している矢板について、現状でどの程度の変位、傾斜等が観察されているのか。
- ・ 廃棄物の斜面の安定について、常時の安全率と地震時の安全率を両方一緒にするのではなく、地震時の安全率を設定した方がいいのではないか。また安定計算に使用するパラメータについて、試験の結果に基づき ϕ や c を設定しているとのことだが、 c は安定性計算に大きく寄与する。廃棄物の性状は必ずしも均一ではないが、その中で c の変動の範囲はどの程度あるのか、安全率1.2の中に収まるのかについて、十分な説明をしていただきたい。
- ・ 遮水シートをブロックで固定するとのことだが、そこに作用する力はどれだけあるのか。
- ・ 圧密の定数を求めるプロセスについて、数字だけしか示されておらず、説明が不親切である。
- ・ 圧密試験について、定率ひずみ圧密試験を繰り返し行っているようだが、通常、定率ひずみ圧密試験は粘性の強い試料に対し行うものである。何故この試料に対し定率ひずみ圧密試験を行ったのか。またなぜ繰り返しの試験を行ったのか。試験の妥当性、合理性について説明してもらいたい。

その他の意見

- ・ 放射性セシウムについては、非常に長期にわたって日本全体で解決すべき問題である。長期的な視野に立って、データ収集に努め、基準作りのベースを作るくらいの気持ちで取り組んでいただきたい。

(4) ㈱フジコーの産業廃棄物焼却施設設置計画について

生活環境保全上の意見

- ・ 塩化水素は環境影響調査の計算結果で高い濃度が出ると予測されており、通常はこのような事業をやるうえでは環境目標値を十分クリアするというのが前提となるので濃度管理を検討してほしい。
- ・ 煙源諸元の排出濃度の設定根拠を示してほしい。
- ・ 消石灰噴霧については、引き続き検討してほしい。
- ・ 環境影響調査書の諸元値は、この濃度を十分クリアするのが前提となるが、煙源の測定結果はその値に近接している。このことから、環境影響調査の計算結果で高い濃度が想定される中では、ダウンドラフトの問題についてももう少し検討してほしい。
- ・ 再燃焼炉で燃焼し悪臭が出ない対策をしているということだが、現状の臭気濃度を示してもらい、そのうえで簡易的でも悪臭の環境影響予測を実施してほしい。
- ・ 環境影響調査で申請の焼却施設のみの影響を見ているが、事業所内の他の施設からの影響も出てくるはずなので、既存の施設を含めた影響評価の方法を検討してほしい。

施設の構造上の意見

- ・ 施設から水が全くでないことには、疑問があるので現地確認をお願いしたい。
- ・ 基礎構造に杭を使っていることは地盤は軟弱であり、このような状況で施設を作ると地盤が圧密沈下を起し、スラグと地盤の間に隙間が発生する。この隙間が発生すると水平方向の抵抗が弱くなってしまう。この点を考慮して地震時の安定性の回答なのか。また、地盤の水準測量の結果を示しながら、施設の地震安定性の設計状況及び対応状況を示していただきたい。

その他

- ・ 堆肥として、炭化物を長期間使用すると、無機物・重金属の蓄積という環境影響が考えられることから、そのことを十分認識して有効利用していただきたい。
- ・ 事業所の場所は、印旛沼・手賀沼の重要な水源地帯であり、土壌汚染・地下水汚染に繋がる場所であることを認識していただきたい。